

防府市の自立支援型地域ケア会議

幸せます会議



防府市の自立支援型地域ケア会議「幸せます会議」は、参加・見学自由のオープンカンファレンス方式。
高齢者の生活支援について、多職種がそれぞれの職種の視点だけでなく、地域に住む生活者としての視点で話し合う場です。（1回2～4事例）

幸せます会議の狙い

①専門職等の規範的統合

防府市で介護予防・自立支援に関わる専門職等が共通認識を持ち合い高め合うことを目的とします。

②ケアマネジメント支援

ケアマネジメントを批判する場ではありません。
インフォーマルサービスの活用や情報を支援します。
ケーススタディとしての実施ですので会議の内容で拘束するものではありません。

③社会資源の開発と発見

事例を通じて、地域に必要な資源を見出し、必要であればその開発に繋がります。
職制にとらわれず自由な発想で発言をお願いします。



共有することは3つ！

①元の生活はどんな生活だったのですか？

自分らしく生活していた頃の普通の暮らしを把握することで
対象者を支えていた社会資源を共有する。

②今はどんな生活ですか？

元の生活から「失ったもの」を把握することで、
現在の生活に至った「理由」を考える。

③どんな暮らしを目指すのですか？

「目指す暮らし」と「今の生活」の差を埋めるものがサービス
目指す暮らしを共有しましょう。

それは適切な目標ですか？ 高すぎる課題だけでは光は見えません。

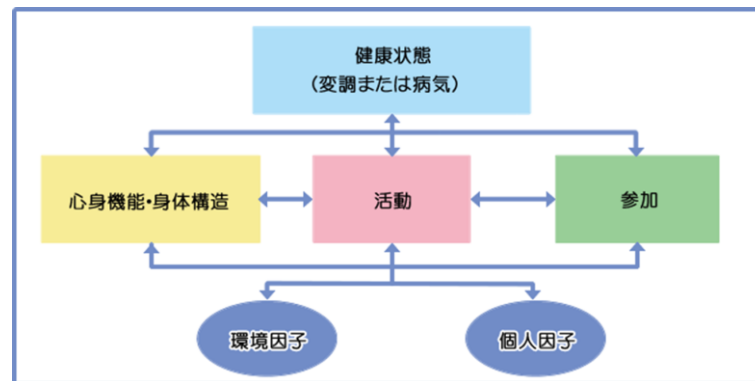


意識すること3つ！

①【活動量を増やすには】

廃用症候群から脱却・予防

いかに活動量を増やすのかという視点で生活支援の方法を考えましょう。



②【参加を促すためには】

個人因子や環境因子から適切な地域資源を見出そう

地域資源とは、介護サービスや介護予防教室・サロンだけではありません。

家族や商店や近所づきあい、自分や誰かの趣味、

日常生活で出会うすべてのものが資源です。

地域に課題や必要なものがあれば、提案してください。

③【高齢者の可能性を信じる】

高齢者の心身が改善する可能性を信じることで、幸せを提供することです。

防府市の高齢者支援の目的は 高齢者に

住み慣れた地域で
ふつうに暮らせる

幸せを提供すること

です！

「幸せを提供する」とは

お前の身体も弱ったし
私の介護も限界だ。

施設に入ってもら
しかないね



最近、膝も腰も痛くて
ほとんど外出はできなくて
買い物も掃除もしんどいし
なかなかできなくて…

だったらヘルパー
しかないですね



介護保険サービスしかない

「幸せを提供する」とは

人生を悲観するときとは、

未来に残された道が一つ**しか**ないとき

ではないでしょうか？

選択肢がない人生は、**不幸**だと思います。

その高齢者を支える方法は、
ひとつ**しか**ないのでしょ



「幸せを提供する」とは

掃除はこうすれば
「筋トレ」になりますよ

生活導線を見直すと
楽になるかも！

趣味ですか？
趣味を活かしてみませんか？
教わりたい人もいます。

買物？
移動販売車、幸せます健康くらぶ、
てごネっと。

地域で立哨をやっていた？
続けましょうよ、できますよ



いまはこんな道具があるんですよ

「幸せを提供する」とは

心身の虚弱を感じた高齢者にとって、
未来に可能性がたくさんあって、
それを選択できるということほど
幸せなことはないはずです。

たくさんの**可能性を提供すること**、
それこそが**幸せを提供すること**。

だからみんなで
知恵を出し合いましょう。
使える資源は
フォーマルサービスだけでは
ないはずです！

専門の**知識**と一般市民としての**知恵**を結集しましょう！

